



「保持林業」のすすめ

～ 木を伐りながら、木を残し、生き物を守る森林管理を考える ～



「木材を生産すること」と「生物多様性を守ること」は両立できるのか、その答えとして今、世界・日本で注目を集めているのが「保持林業」です。

森の木をすべて伐採するのではなく、一部の広葉樹などをあえて残すことで、豊かな生態系を守り、森や林業の価値をさらに高めることができます。

本講座では、日本における保持林業の有効性を科学的に解明し、

「日本森林学会賞」を受賞された山浦悠一氏をお招きし、これからの森との付き合い方や、自然と共生する森林管理の未来をわかりやすくお話しいただきます。

講師 山浦 悠一 氏

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所
森林植生研究領域 景観生態研究チーム長

長野の山村に生まれ、地バチやイナゴを追い、タラの芽やキノコを探しながら育つ。森林や林業、生物多様性への関心から研究の道へ。岩手大学卒業後、東京大学で博士号を取得。長野県職員、北海道大学等を経て現職。令和6年度「日本森林学会賞」受賞。



【開催概要】

- ◆ 日時：令和8年10月16日（金曜）13:30～16:00
- ◆ 会場：香川県東部林業事務所会議室（公測森林公園内）
（高松市東植田町1210-3）
- ◆ 対象：森林・林業、自然環境に関心のある方（一般参加歓迎）
- ◆ 参加料：無料
- ◆ 定員：30名（申込制・応募多数の場合は抽選）
※ 結果はメールまたは電話でお知らせします。



【お申し込み】

- ◆ 氏名、電話番号、メールアドレス、所属を明記のうえ（一般の方は不要）、メール又はFaxでお申し込みください。

【申込締切】

- ◆ 10月6日（火曜） 必着

【お申し込み・お問い合わせ先】

香川県森林センター 高尾

E-mail：shinrincenter@pref.kagawa.lg.jp

TEL：0877-77-2515 FAX：0877-78-3945